

氏名・職位	小原 勝（おはら まさる） 教授
担当科目	[教養科目] 教養・キャリア基礎演習Ⅱ [専門科目] 微生物学、口腔外科学、摂食嚥下リハビリテーション学、歯科総合演習Ⅰ、Ⅱ、口腔解剖学Ⅱ、高齢者歯科、診療補助基礎Ⅰ、診療補助応用Ⅲ、Ⅳ
研究分野	細菌学、口腔総合診療学、口腔外科学
学位	博士（歯学）
主な教育研究業績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ CdtC-induced processing of membrane-bound CdtA is a crucial step in <i>Aggregatibacter actinomycetemcomitans</i> Cytotoxic Distending Toxin Holotoxin Formation. (CdtC 誘導膜結合型 CdtA の修飾がアグレガチバクテラ アクチノミセテムコミタンス CDT ホロ毒素形成に重要である) .Tsuruda K, Matangkasombut O, Ohara M, Sugai M. Infect Immun : 86 : 、e00731-17、共著、 2018 年</li> <li>・ フローサイトメーターを用いたう蝕原因菌の迅速検出・定量化の可能性. 小原勝, 海原康孝, 石川隆義. 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌 9 号(通算 24 号)37-43. 共著、2020 年</li> <li>・ 採取唾液 48 時間後の口腔常在菌叢の変化. 小原 勝、目瀬 浩、山本大介、高倉裕明、海原康孝、石川隆義. 全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌 10 号(通算 25 号)29-38. 共著、2021 年</li> <li>・ 過去 10 年間の歯科衛生士国家試験問題からみえてくるもの. 小原勝. 大垣女子短期大学紀要 (accepted) 2022 年</li> <li>・ Proposal for salivary auto-transplantation as a probiotic against radiation-induced stomatitis. (放射線性口内炎に対する自己唾液のプロバイオティクス化提案) Ohara M, Hayashi I, Takakura H, Yamamoto D, Mese H. IJRES :10 (4): 59-72 2022 年</li> </ul>
所属学会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本細菌学会(2000 年加入 : I C D 認定医 2009 年～)</li> <li>・ 分子生物学会(2000 年加入)</li> <li>・ 米国細菌学会 [A S M](2018 年加入)</li> <li>・ 全国大学歯科衛生士教育協議会(2019 年加入)</li> </ul>
社会的活動業績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広島県東広島市 1.6 歳児歯科検診従事(H22 年 4 月～H28 年 3 月)</li> <li>・ カンボジア歯科検診ボランティア参加 (3 月第 1 週) [3 回](H26 年～28 年)</li> <li>・ 米国州立 University of Florida フロリダ大学客員研究員 (H29 年 10 月～H30 年 10 月)</li> </ul>
その他	